

## IV 採点・評価等基準

### 1 小論文

次の学部・学科等で小論文を課し、それぞれ修学上必要な能力をみます。

- (1) 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術  
これまでに学んだ技術に関する内容を基礎に、技術に対する見方・考え方を問います。
- (2) 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース家政  
高等学校までに習った家庭科あるいはこれに準ずる科目を基礎に、生活についてのものの見方・考え方を問います。
- (3) 医学部保健学科看護学専攻  
人間の生命と社会・文化に関する課題文（和文・英文）を読み、読解力、思考力、表現力を問います。
- (4) 医学部保健学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）  
社会的な課題や文化等に関する課題文や統計的データ（和文）を読み、分析、解釈、考察などの一連の過程を記述することで、理解力、表現力、知識などを問います。
- (5) 工学部先進工学科機械工学プログラム  
修学上必要な数学・物理※の基礎学力を問うとともに、高等学校までに習った数学や理科などを基礎に論理的思考力や科学的発想の豊かさを問い、機械工学への意欲と適性を評価します。  
※ 数学の範囲は数学Ⅰ及び数学Ⅱ，物理の範囲は物理基礎とします。
- (6) 農学部農学科  
専門を学ぶうえで必要な知識を基礎として、課題に対して論理的に考察し表現できるかを問います。
- (7) 水産学部水産学科  
水産学を学ぶうえで必要な基礎的事項に関する理解力、あるいはトピックス的なものに関する理解力ならびに考察力を問います。
- (8) 共同獣医学部畜産学科  
専門を学ぶうえで必要な知識を基礎として、課題に対して論理的に考察し表現できるかを問います。

### 2 実技検査

次の学部・学科等で実技検査を課し、それぞれ修学上必要な能力をみます。

- (1) 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術  
中学校技術・家庭科技術分野で扱う作業の中から出題し、ものづくりに関わる技能等を評価します。志願者は出題された複数の作業課題から2つを選択します。
- (2) 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術  
鉛筆による静物デッサンを課し、美術の表現に関わる基礎的資質と能力をみます。

### 3 面接

次の学部・学科等で面接を課します。

学部	学科等		面接の形態			面接時間	評価事項		
			個人面接	集団面接	面接員数				
教育学部	学校教育教員養成課程	中等教育コース	技術 <sup>※1</sup>	○	人	人	分	<p>教職への意欲、適性等を評価します。この際、持参した<u>高等学校長承認印のある</u>製作活動の記録も参考にします。</p> <p>製作活動の記録は、下記を参考に志願者自身でまとめて作成してください。なお、製作物は正課や課外活動に限らず、複数あっても構いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製作活動の記録は1つの製作物につき、参考資料を除いてA4サイズで3枚以内(片面印刷)</li> <li>製作物(栽培植物等を含む)や製作過程の写真・図など</li> <li>製作過程の活動の様子(複数名で製作した場合は担った役割)</li> <li>その他の参考資料： 組立・部品図、回路図、コメント付きプログラムリスト等</li> </ul>	
			家政	○				20	将来、中学校・高等学校の家庭科教育に携わる者としての意欲、適性等を評価します。
			美術 <sup>※2</sup>	○				15	持参した <u>高等学校長承認印のある</u> ポートフォリオ(自己の作品写真集で入選・入賞歴も記載したもの、A4サイズ20ポケット以内のクリアファイルを使用すること)をもとに、美術の基礎的内容の理解、美術への興味・関心、勉学意欲の程度、教員志望への熱意などをみます。
医学部	保健学科	看護学専攻			5人程度	3	30	提示された課題についてグループディスカッションを行い、医療人としての意欲、適性を評価します。	
		理学療法学専攻			3	3	30	理学療法学又は作業療法学を学び、更に資格取得後それぞれの専門職として、保健・医療・福祉の推進に貢献していこうとする適性、能力及び意欲をみます。	
		作業療法学専攻			3	3	30		
工学部	先進工学科	機械工学プログラム	○			5	10	学習意欲、目的意識と適性について評価します。	
		電気電子工学プログラム	○			6	20	基礎学力、電気電子工学の一般常識、学習意欲、目的意識について評価します。	
農学部	農学科(専門教育を主とする学科等)	○				3~5	15	志望理由書を参考にして行い、関心度、学習意欲、基礎知識(高等学校等で学習した内容)等を評価します。	
水産学部	水産学科	○				3~6	20	水産学を学ぶ意欲等について評価します。	
共同獣医学部	畜産学科(専門教育を主とする学科等)	○				3~4	15	志望理由書を参考にして行い、関心度、学習意欲、基礎知識等を評価します。	

(注) 受験者数により「面接の形態」、「面接時間」を変更することがあります。

(注) 集団面接欄の数字は受験者数です。

※1 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術の面接を受験する者は、高等学校長承認印のある製作活動の記録を必ず持参してください。

※2 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術の面接を受験する者は、高等学校長承認印のあるポートフォリオを必ず持参してください。

#### 4 調査書

- (1) 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術  
専門教科の評定について評価します。その他の項目については、アドミッション・ポリシーに記載する項目に従い、面接時の基礎資料として用います。
- (2) 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術  
各項目について、アドミッション・ポリシーに照らし合わせて総合的に評価します。
- (3) 工学部先進工学科（機械工学プログラム、電気電子工学プログラム）  
各教科・科目等の学習成績の状況、高等学校での部活動、ボランティア活動等の諸活動の状況、出欠状況など、記載事項全般について総合的に評価します。
- (4) 水産学部水産学科  
学習成績概評について評価します。その他の各項目については、アドミッション・ポリシーに照らし合わせて総合的に評価します。

#### 5 プレゼンテーション

次の学部・学科等でプレゼンテーションを課します。

- (1) 農学部農学科（普通科等）  
推薦要件を踏まえ、これまでに取り組んできた研究成果について、5分間のプレゼンテーション及び5分間の質疑応答により、論理的思考力、表現力、対話力、学習意欲等を評価します。なお、評価者（検査員）は3～5名とします。  
プレゼンテーションについては、PC（ノートパソコン、タブレット端末等）による発表またはポスター発表のいずれかを選択できます。  
PCによる発表の場合、各自が持参したPCをプロジェクターに接続して発表することとします。プロジェクターはWindows OSに対応しており、画面比は16：9を推奨します。接続端子はHDMIのみ可（VGA等は不可）としますので、変換機器等が必要な場合は、各自で準備してください。なお、HDMIケーブル及びプロジェクターは本学で準備します。  
ポスター発表の場合、各自が持参したポスター（高さ110cm、幅180cm以内）をボードに掲示して発表することとします。なお、掲示用のマグネットは本学で準備します。
- (2) 共同獣医学部畜産学科（普通科等）  
推薦要件を踏まえ、これまでに取り組んできた研究成果について、PDFファイルを用いた5分間のプレゼンテーション及び10分間の質疑応答により、論理的思考力、表現力、対話力、学習意欲等を評価します。なお、評価者（検査員）は3～5名とします。  
プレゼンテーションについては、PDFファイルを用いたPC（ノートパソコン、タブレット端末等）による発表とします。  
PCによる発表は、各自が持参したPCをプロジェクターに接続して発表することとします。プロジェクターはWindows OSに対応しており、画面比は16：9を推奨します。接続端子はHDMIのみ可（VGA等は不可）としますので、変換機器等が必要な場合は、各自で準備してください。なお、HDMIケーブル及びプロジェクターは本学で準備します。

## V 合否判定基準

- 1 各学部・学科等で実施する個別学力検査等の総合得点により順位付けを行い、合否を決定します。  
なお、本学が課す個別学力検査等のうち、1つでも受験しなかった者は失格となり、合否判定の対象とはなりません。
- 2 工学部先進工学科機械工学プログラムにおいては、小論文、面接及び調査書の各得点が工学部の定める基準に満たない場合は不合格とすることがあります。
- 3 工学部先進工学科電気電子工学プログラムにおいては、面接の得点が工学部の定める基準に満たない場合は不合格とすることがあります。
- 4 農学部農学科においては、総合得点が農学部の定める基準に満たない場合は、不合格とすることがあります。
- 5 共同獣医学部畜産学科においては、総合得点が共同獣医学部の定める基準に満たない場合は、不合格とすることがあります。
- 6 総合得点が同点の場合は、次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

学部	学科等		同点者の優先順位
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等 教育 コース	技術 1. 面接 2. 実技検査 3. 小論文
			家政 1. 小論文 2. 面接
			美術 1. 実技検査 2. 面接 3. 調査書
医学部	保健学科	看護学専攻	1. 小論文 2. 面接
		理学療法学専攻	
		作業療法学専攻	
工学部	先進工学科	機械工学プログラム	1. 小論文 2. 面接 3. 調査書
		電気電子工学プログラム	1. 面接 2. 調査書
農学部	農学科	専門教育を主とする学科等	1. 小論文 2. 面接
		普通科等	1. プレゼンテーション 2. 小論文
水産学部	水産学科		1. 面接 2. 小論文 3. 調査書
共同獣医学部	畜産学科	専門教育を主とする学科等	1. 小論文 2. 面接
		普通科等	1. 小論文 2. プレゼンテーション